

グラウト工 概算 数量計算書 [全体]

1. 施工延長 (L)

L = 55.00 m

2. 注入孔数 (N)

(二列配置, 孔間隔 : 1.00m^{ピッチ}, 列間隔 : 0.80m)

N = 110 本 [N = L m × 2 列]

3. 削孔長 (L0)

総削孔長 L0 = 814.00 m [= N 本 × L0 m]
 1本当り平均削孔長 : L0 = 7.40 m/本
 内訳 : 粘性土 : L0₁ = - m/本
 砂質土 : L0₂ = - m/本
 礫質土 : L0₃ = 7.40 m/本
 軟岩 : L0₄ = - m/本

4. 注入長 (L1), 及び 土被り長 (L2)

総注入長 L1 = 704.00 m [= N 本 × L1 m]
 1本当り平均注入長 : L1 = 6.40 m/本 [= L0 m - L2 m]
 1本当り平均土被り長 : L2 = 1.00 m/本

5. 設計注入量 (Q)

(1) 1孔1m当り注入量 (q)

q = V × (1 + b) = $\frac{B}{1.70} \times \frac{h}{1.00} \times \frac{D}{1.00/2} \times 0.2 \times (1 + 0.2) = 0.204 \text{ k / m} = 204 \text{ / m}$

V : 1孔1m当り注入対象土量 (m³) [注入幅(B) × 単位注入長(h) × 注入孔ピッチ(D)/列数]

: 注入率 = 20 % とする。

b : ロス率 b = 0.2 とする。

(2) 設計注入量

総注入量 : Q = L1 × q = 704.00 m × 204 / m = 143,616 (= 143.616 k)
 1孔当り平均注入量 : Qs = 143,616 / 110 本 = 1,306 / 本 (= 1.306 k / 本)

6. 注入材料及び配合

(1) 注入材料 懸濁型無機中結タイプ

参考使用材料 : 岩水3号 乳液型(配合比10%型) ... [特殊水がらす]

(2) 標準配合(参考)

1 k (1,000) 当り配合				
A 液	岩水3号	100	500	1,000
	水	400		
B 液	マイクロメント	150kg	500	
	水	450		

マイクロメント[特殊メント]使用量 : 143.616 k × 150kg/k ÷ 20 kg/袋 = 1077 袋

注 ; 薬液注入材料の一般的な単価表示は、配合・混合後の注入量 [設計注入量] に対する単価である。

| 原材料での単価表示ではないので留意必要。また、建設物価の懸濁型無機中結タイプの掲載単価は37円/リットル。 |

| なお、岩水3号の建設物価掲載単価は、配合・混合後の注入量の岩水3号分に対する単価である。 |

言い換えると、原液での単価表示ではない。また、セメント金額が含まれていないため加算が必要である。

7. 効果確認試験工(チェック工)

オールコアボーリング 孔径 66mm 鉛直下方とする

孔数 ... 2 本 とする

名称	ボーリング長				(m)	現場透水試験(回)	備考
	粘性土・シルト	砂・砂質土	礫混じり土砂	軟岩			
チェック工 C - 1	-	-	9.00	-	9.00	3	・透水試験は3mに1回
チェック工 C - 2	-	-	9.00	-	9.00	3	程度で計上
							・ボーリング長は想定で
合計	-	-	18.00	-	18.00	6	グラウト削孔長-0.5m